

唐松岳～祖母谷温泉

2013.10.6～8 4名で

10/6 (日) 晴れ・ガス 白馬第三駐車場 11:35～(ゴンドラ・リフト) 12:08 八方池山荘(昼) 12:40～15:43 唐松岳頂上山荘(泊)

10/7 (月) 快晴 5:45～8:00 大黒銅山跡 8:15～10:10 餓鬼山(2128M) 10:15～11:05 餓鬼山避難小屋(昼) 11:45～12:40 餓鬼ノ田圃 12:50～16:05 祖母谷温泉小屋(泊)

10/8 (火) 晴れ 8:00～8:40 樺平駅 9:16～(トロッコ列車) 10:38 宇奈月温泉駅 11:02～(富山地方鉄道) 11:41 新魚津駅～JR魚津駅 12:38～(JR) 13:26 糸魚川駅(昼食) 14:50～15:51 南小谷駅 16:20～16:38 白馬駅～白馬第三駐車場 17:20～18:05 帰宅

10/6 新潟勢は今回列車利用。今日は唐松小屋泊りなので遅い出発。上部はガスで展望は効かない。今日は紅葉と日曜日なので下山者が多い。紅葉は2000M以上が盛り。

八方尾根の1998年長野冬季オリンピックの滑降スタート台



八方池上付近の紅葉



15:43 には小屋に着く。五竜岳への縦走者が多い感じ。夕食後小屋番から祖母谷コースの説明・注意事項を聞く。今日は3組下ったが1組は暗くなっただがまだ祖母谷温泉小屋に到着していないと言っている。それと南越峠下5分にある水場は枯れているとの事。

唐松小屋から祖母谷温泉への下山道と右から毛勝三山、劔岳、立山

劔岳の朝焼け



10/7 朝飯が5:00~だったので食べて5:

45に出発する。天気予報では暑い日だと言うので一人1.5Lの水を持つ。山地図などにも書かれているが、一般登山道としては道幅も狭く、滑りやすい道が多く歩き難い登山道である。ただ登山道は注意していれば間違える事は無い。

劔～立山

餓鬼山への登り



先日歩いた 内蔵助谷

劔岳～立山を眺めながらの極楽



左・餓鬼山山頂へ 右・この案内板が要所にあつたが距離が記入されていると良いと思う



快晴で素晴らしい展望を眺めながらの下り坂。気温も高いので歩き始め以外は一日Tシャツだけ。今年は9月下旬から高温続きだ。それでも紅葉はしている。このコースは携帯電話が全区間「圏外」なので、怪我には注意する。一気に下って餓鬼山への登り。それほど登りでは無い。やせ尾根もほとんど危険は感じ無い。

ハシゴ・ロープで整備されているので、案内書等にかかれたほど危険性は無い。ただ残雪期・降雨時・夏の暑い時期は向かない。9月中旬～10月上旬が適期のコースと思う。餓鬼山避難小屋に入って昼食。

餓鬼山避難小屋にて同行者



毛布なども置いてある。水場が無いのが欠点だが利用価値はある良い小屋だ。兎に角 毛勝三山～剣岳～立山三山を常に眺めながらの素晴らしいコースである。逆に天気の良い時に歩くコースでは無いかも。(歩きズライので) 先日歩いたばかりの立山三山と内蔵助谷が常に見られて感激。こんなに良い天気とは予想しなかった。双眼鏡と一眼レフカメラを持参しなかった事が終始悔やまれた。蛇の多い登山道と聞いていたので、

なおさら足元注視で歩く。1匹だけで済んだ。餓鬼ノ田圃は注意していないと気が付かないと思う。古い看板があり、休憩した所で気が付いた。踏み跡とテープ印のみで。南越峠から少し下ると本当に滑りやすい登山道になる。雨が降らずに水場が枯れているのに何故か濡れているのだ。不思議な所だ。そのせいか、きのこが多い。南越沢で水を補給し休憩。後は沢沿いに下るのみと思いきや2回の高巻きがある。道幅も極めて細い所がある。10年前の地図はやはりマズイ。説明書も古いのでダブルミス。

やっと祖母谷温泉小屋が近づきました



懐かしい祖母谷温泉



祖母谷温泉到着



男湯



温泉全景



同行者が購入した新しい地図には記載されている。最後の区間で少し時間がかかってしまい16:05の到着。予定よりは25分早着。全員滑って転ぶ事も無く、明るい内に無事到着は何よりだ。風呂に入ってからと思っていたらTさんが早速缶ビール！その美味しい事！。一缶追加で温泉へ。極楽だ。夕食時又飲むが今日の酒は本当に美味しい。転んで怪我をしないように神経を使って歩いたせいかな？泊り客は下の廊下組と白馬岳から下った人達だ。昨日遅くなった2名は何と20:00に到着したとの事。小屋の人が途中まで迎えに行ったとの事だ。普通の登山道ならヘッドランプでも歩けるけど、あの細い道を歩くのは大変だと思うのだが。

同行者が購入した新しい地図には記載されている。最後の区間で少し時間がかかってしまい16:05の到着。予定よりは25分早着。全員滑って転ぶ事も無く、明るい内に無事到着は何よりだ。風呂に入ってからと思っていたらTさんが早速缶ビール！その美味しい事！。一缶追加で温泉へ。極楽だ。夕食時又飲むが今日の酒は本当に美味しい。転んで怪我をしないように神経を使って歩いたせいかな？泊り客は下の廊下組と白馬岳から下った人達だ。昨日遅くなった2名は何と20:00に到着したとの事。小屋の人が途中まで迎えに行ったとの事だ。普通の登山道ならヘッドランプでも歩けるけど、あの細い道を歩くのは大変だと思うのだが。

10/8 朝早くから2回入浴する。昨夜は夕食後うたた寝してしまい、1回しか入浴しなかったが朝起きると何時もの筋肉痛が無い。此処の温泉は筋肉痛には凄い効用があるようだ。膝・腰もほとんど痛く無い。これは特筆ものだ。又オーナーのご夫婦の感じも良い。風呂上りに飲んだビールがこれまた美味かった。この小屋は2003年の7/22に群馬のYさん達と白馬岳から清水尾根を下った時に泊まった。5:30に頂上宿舎を出て17:05に祖母谷に到着と記録にある。

清水岳までは高山植物の宝庫で、貴重なミヤマハナシノブも初めて見られたし、劔岳の展望も良かった。避難小屋から下が歩きずらく時間がかかったとも書かれている。翌日は関西電力の非公開部分（榎平～地下発電所～黒四ダム間）のトロッコ列車等にも乗れた。（応募して当選した）今でも実施されているが、登山姿での参加は禁止された。私と同じように考える人たちが他にもいたのだろう。

榎平ビジターセンター内部



榎平駅



車道を歩いて榎平駅へ。ヘルメット姿の観光客がチラホラ歩いてくる。榎平ビジターセンターを見学し、トロッコ列車で宇奈月温泉へ。

トロッコ列車



宇奈月温泉が近づきました



すれ違う列車には大勢の観光客が乗っている。13両編成で3種類の客車がある。12:00頃、JR魚津駅で解散する。新潟勢は昼食後14:32発の特急で帰路へ。私は普通列車乗継で帰路へ。車中で又ビールを飲む。立山～剣岳～毛勝三山～梅海新道等眺めながら。うしろ立山連峰(針ノ木岳～鹿島槍～白馬岳等)と言う呼び名は富山県人がつけたのだろう。登山を始めた頃はこの呼び名には違和感があった。JRは接続や本数が少なくて不便だ。儲かる新幹線中心主義のせいだ。北陸新幹線が2005年に金沢まで開通する。黒部・宇奈月と言う駅が黒部駅の近くに出来るそうだが、地元の方は政治の力と言う。YKK(吉田工業)の大きな工場があった。増々ローカル列車は不便になるのだ。糸魚川の食堂のオバサンは糸魚川に新幹線の駅ができて一日4本しか停車しないと語っていた。糸魚川発南小谷行の列車の乗客の9割は登山者だった。朝阿曾原小屋を出た人と同じ列車になってしまった。白馬駅からのバス便に時間があるので、駐車場まで歩くことにする。今日は40分しか歩いていないし、ビールの飲み過ぎで丁度良い。友人のSさんも7～8日と涸沢～奥穂～岳沢と1泊で歩いたとの事。涸沢の紅葉が素晴らしかったと報告あり。